

肺静脈隔離における左房後壁食道焼灼の Ablation index 値 (260) の有効性の検討

1. 研究の対象

当院で 2019 年 6 月から心房細動に対して肺静脈隔離を実施、左房内から心腔内超音波を用いて食道、左房後壁の観察を行った方

2. 研究目的・方法

現在高周波心房細動アブレーション治療を行う患者様において、Ablation index と呼ばれる焼灼の程度を評価する数値を目安にして焼灼の時間を決定しています。現在まで、左房後壁食道は 260 を指標とし、安全かつ効果的に治療が行うことができます。今回、通常診療で行っている心腔内超音波検査を用いて、左房から食道までの距離、左房後壁厚の観察を行い、科学的に Ablation index 値 (260) の有効性の検討を行います。いずれの検査、治療もこれまでの報告でその安全性が確認されている範囲内のものです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

心腔内超音波検査データ（左房後壁厚及び食道までの距離）、治療に関するデータ（食道上での肺静脈焼灼 1 回での隔離成功率、焼灼に関する指標等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科

住所 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話番号 096-351-8000 （病院代表）

研究責任者：循環器内科 林 克英

以上